

新組合で更なる発展

42年の歴史に幕

鹿児島建設業協組臨時総会

鹿児島建設業協同組合（川畑俊彦理事長）は19日、鹿児島市の県建設センターで臨時総会を開いた。31日の今年最後の日を持って解散することが了承され、42年の長きにわたる組合活動の歴史に幕を下ろすことになった。

これまでの協力に対し感謝の言葉もあった総会＝鹿児島市の県建設センターで

議事では、川畑理事長を議長に選出。組合解散や出資金および余剰金など清算手続きについて全会一致で承認された。

川畑理事長は、これまでの事業活動の協力に感謝の言葉を述べた上で「7月に新たに鹿児島市建設業協同組合を設立した。さらなる発展に向けて、組織力の強化と建設資材の共同購買事業の推進を図っていききたい」と協力を求めた。

鹿児島市建設業協同組合（同理事長）は、3月の西鹿児島建設業協同組合の解散等を受け、組織の一本化と基盤強化を目的に7月に発足。建設資材の共同購買事業の充実や安定した資材価格の確保

業務効率化を理解

タブレット活用セミナー

県建設協会

県建設協会（畠田実会長）は18日、鹿児島市の鹿児島県建設会館で「建設業者向けタブレット活用セミナー」を開いた。写真。会員企業の経営者



写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。



写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

建築技術講習会

構造デザイン学

県建築士会など

県建築士会（守真和弘会長）と県主催の建築技術講習会が18日、鹿児島市の県民交流センターであった。鹿児島大学大学院の横須賀洋平助教が数

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

保、適正な設計単価の維持などを活動方針に掲げている。

建設鹿児島支部

模範訓練実施

また同日は、県建設業協会鹿児島支部（川畑俊彦支部長）が模範防災模範訓練を実施。写真。関係者約40人が参加し、連絡の流れや状況報告の在り方などを確認した。訓練では、デジタル無線を使った災害情報の発信



写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

開校前に貴重な体験

新笠沙小現場で見学会



新笠沙小学校大規模改修工事安全協議会主催の見学会が11日、南さつま市の同現場であった。写真。玉林小、赤生木小、笠沙小の児童、教諭ら約90人が訪れ、2014年4月に生まれ変わる新たな学び舎を見学するなどの貴重な体験をした。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

開校前に貴重な体験

新笠沙小現場で見学会



新笠沙小学校大規模改修工事安全協議会主催の見学会が11日、南さつま市の同現場であった。写真。玉林小、赤生木小、笠沙小の児童、教諭ら約90人が訪れ、2014年4月に生まれ変わる新たな学び舎を見学するなどの貴重な体験をした。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

大隅全体の連合組織を

鹿屋緑化建設業協会意見交換



写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。



写真。NTTドコモの協力で、現場代理人など約20人が参加。最新端末を利用した業務の効率化について理解を深めた。

液状化に効果発揮

アクパド工法Ⅱで地盤改良

古川組

地盤改良において県内有数の実績を誇る（株）古川組（花田康隆社長）は、鹿児島市天保山町に建設中の特別養護老人ホーム（仮称）「ゆうあい郷天保山新築」の現場で地盤改良を実施している。写真。同社が性能証明を取得している「アクパド工法Ⅱ」を新開発工法として採用。3日から工事に着手し、地盤全体の強度確保を図る。施工は中央建設、設計は武元順宅アトリエエナジーが担当。

同工法は、水と空気を地中に送り込みながら垂直に掘削、砕石を押し込み柱状の地盤を形成。砕石と地盤本来の力を利用し地盤全体の強度を高めるとともに、液状化を防止する。特長は、①環境に配慮した工法②工期短縮が図れる③従来工法と比較してコスト面でメリットがあるなど。

同社は公共事業の減少を見越して2002年10月から地盤改良事業に参入。13年11月末現在で九州管内2554件の施工実績を持つ。花田社長は「杭と混同されがちだが、基本的な支持力の算定方法が異なる。例えるなら置き換え工法に近い」と説明した上で「東日本大震災の影響で液状化問題がクローズアップされ、地盤に対する認識や重要性が知られるようになった。また、設計・施工における迅速な対応も受け入れられている要因では」と話した。